

2024年度

亀田医療大学

学生生活満足度・実態調査報告書

1. 調査目的

本調査は、亀田医療大学の学生支援体制およびキャンパス環境に対して、学生がどの程度の満足を得ているのかを把握し、さらに、得られた結果から、学生支援およびキャンパス環境の課題を明確にし、学生生活の充実に資することを目的とする。また、学生の修学状況や課外活動等の学生生活の現状を的確に把握し、今後の大学運営や学生生活の環境整備、将来的な大学計画の参考にする事を目的とする。

2. 調査対象

2024年7月時点で本学に在籍する全学生を対象とした。

3. 調査期間

2024年7月12日から7月26日まで

4. 調査方法

学生に調査目的と趣旨を説明し、自由意思による調査協力を依頼した。

Microsoft Office365 アプリ forms を用いて実施した。forms の URL を QR コードで掲示・配布し、各自スマートフォンからアクセスして回答を収集した。本調査は成績評価には一切関係ないことを説明した。

5. 調査項目

アンケートの主要項目として、「Ⅰ.学生支援」6項目、「Ⅱ.屋内施設」8項目、「Ⅲ.屋外施設」3項目、「Ⅳ.大学生活全般」6項目の満足度に関する質問内容を設定し、「Ⅴ.総合的な学生生活」に対する満足度を加えた。また、実態調査の項目として、「Ⅵ.現在の生活状況」は通学時間や生活費やアルバイトの状況に関する8項目、「Ⅶ. 修学の状況」は学修時間や不明点の対応に関する4項目、「Ⅷ. 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動」は学生自治会・学生団体（部、サークル）活動やボランティア活動の参加状況に関する3項目、「Ⅸ. 学生生活の悩み」は2項目を質問内容とした。さらに、「Ⅰ」～「Ⅳ」の各設問の最後に回答理由や意見を記入するための自由記載欄を設け、調査用紙の最後に具体的な意見等を記入するための「Ⅹ. 自由記載」を設けた。

6. 調査結果

本調査で対象とした学生は236名(休学者10名除く)であった。そのうち、回答の得られた学生142名(回収率：60.2%)を分析対象とした。

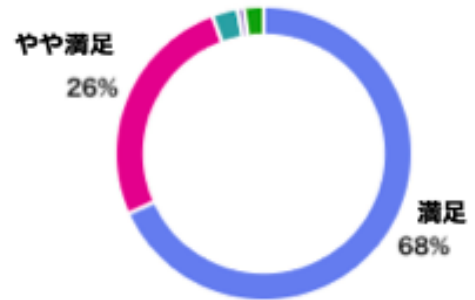
表1 学年別の回収率

学年（人数）	回答数	回収率
1年生(38名)	24	63.2%
2年生(73名)	36	49.3%
3年生(52名)	33	63.5%
4年生(73名)	49	67.1%
総数（236名）	177	60.2%

「I.学生支援」について

(1) チューター制による学生支援に対する満足度

● 5：満足	97	(68.3%)
● 4：やや満足	37	(26.0%)
● 3：やや不満	4	(2.8%)
● 2：不満	1	(0.7%)
● 1：利用したことがなくわからない	3	(2.1%)



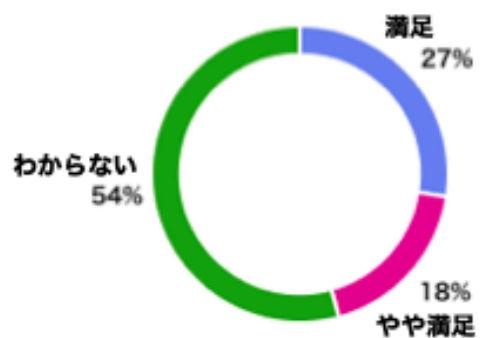
「利用経験なし」と回答した学生は3人(2.1%) /142人で、前年(2.8%)とほぼ同様の比率だった。

- ✓ 「満足」68.3%、「やや満足」26.0%を合わせた割合は94.3%で、前年(92.6%)から上昇
- ✓ 「不満」0.7%、「やや不満」2.8%を合わせた割合は3.5%で、前年(4.5%)から減少
- ✓ 自由記載では、「チューター変更も出せるのは知っているが、ゼミがあってそれが難しい」という意見があった。

チューター制度に対しては9割の学生が満足しているが、少人数ではあるが利用経験なしの学生が前年と同様の割合で居ることやチューター変更に関する意見や要望があることがわかった。

(2) オフィスアワーによる学生支援に対する満足度

● 5：満足	39	(27.5%)
● 4：やや満足	26	(18.3%)
● 3：やや不満	0	(0%)
● 2：不満	0	(0%)
● 1：利用したことがなくわからない	77	(54.2%)

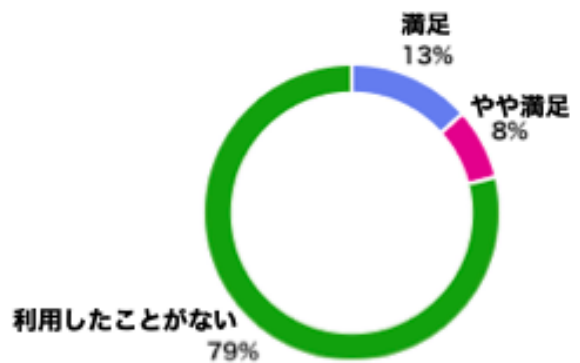


「利用経験なし」と回答した学生は77人(54.2%) /177人で、前年(54.8%)とほぼ同様であり、学生の約半数はオフィスアワーの利用経験が無かった。

「不満」、「やや不満」と回答した学生はなく、利用した学生全員が満足していた。

(3) VOICE ボックスに対する満足度

● 5：満足	19	(13.4%)
● 4：やや満足	11	(7.8%)
● 3：やや不満	0	(0%)
● 2：不満	0	(0%)
● 1：利用したことがなくわからない	112	(78.8%)



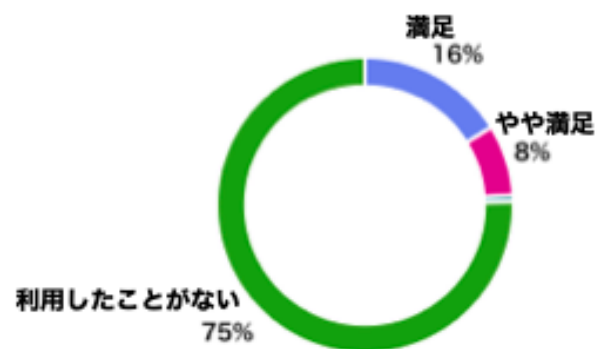
「利用経験なし」と回答した学生は112人（78.8%）で、前年（72.9%）よりもやや増加していた。

「不満」「やや不満」という回答はなく、利用した学生は「満足」「やや満足」との回答が得られた。

VOICE ボックスを利用した学生の人数は前年より減少していた。さらに自由記載で「VOICE ボックス書いたとして改善されるのか」と懐疑的な意見があった。

(4) 学生カウンセラーに対する満足度

● 5：満足	23	(16.2%)
● 4：やや満足	11	(7.7%)
● 3：やや不満	1	(0.7%)
● 2：不満	0	(0%)
● 1：利用したことがなくわからない	107	(75.4%)



「利用経験なし」と回答した学生は107人（75.4%）/142人で、前年（71.2%）よりも利用経験のない学生の比率が微増した。

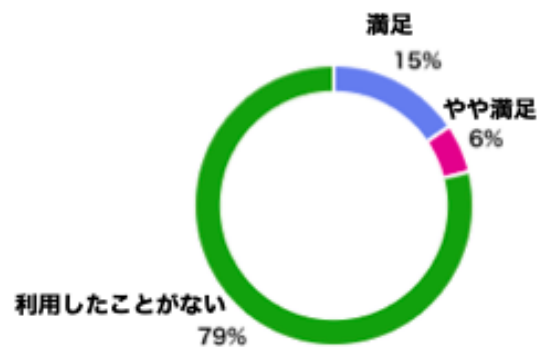
✓ 利用したことがある学生（35名）のうち、「満足」は65.7%（23名）、「やや満足」は31.4%（11名）であった。

✓ 「やや不満」は2.9%（1名）であった。

学生カウンセラーを利用した学生の割合は微減し、利用した学生の97%は満足していた。

(5) ハラスメント相談員に対する満足度

● 5：満足	22	(15.5%)
● 4：やや満足	8	(4.2%)
● 3：やや不満	0	(0%)
● 2：不満	0	(0%)
● 1：利用したことがなくわからない	112	(78.9%)

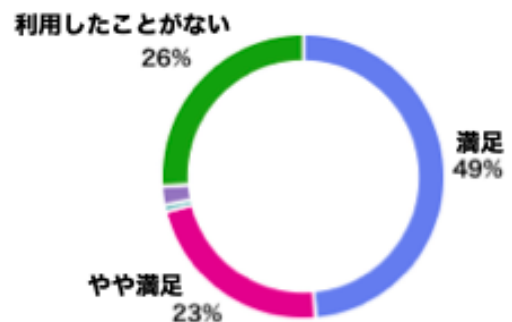


「利用経験なし」と回答した学生は112人（78.9%）/177人で、前年（72.3%）よりも利用していない学生の割合は増加していた。利用した学生（30名）のなかでは、「満足」73.3%、「やや満足」26.7%で、利用者の全てが満足に感じた結果であった。

ハラスメント相談員を利用した学生の割合はやや減少し、利用した学生は概ね満足している結果となった。

(6) 学生保険（WILL）の支援に対する満足度

● 5：満足	69	(48.6%)
● 4：やや満足	32	(22.5%)
● 3：やや不満	1	(0.7%)
● 2：不満	3	(2.1%)
● 1：利用したことがなくわからない	37	(26.1%)



「利用経験なし」と回答した学生は37人（26.1%）/177人で、前年（19.2%）から約7ポイント減少していた。利用したとされる142人中105名の学生において満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」65.7%、「やや満足」30.5%で、概ね満足と回答した割合は96.2%であった。
- ✓ 「不満」2.9%、「やや不満」0.9%で、不満と回答した割合は、3.8%であった。

不満と感じた理由などについて自由記載はなかった。

「Ⅱ.屋内施設」について

(1) 図書館の蔵書数に対する満足度

● 5：満足	81	(57.0%)
● 4：やや満足	42	(30.0%)
● 3：やや不満	5	(3.5%)
● 2：不満	0	(0%)
● 1：利用したことがなくわからない	14	(9.9%)



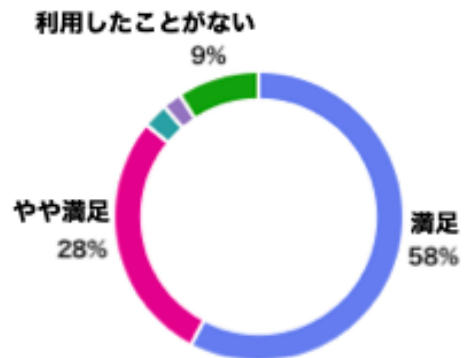
「利用経験なし」と回答した学生は14人(9.8%) /142人で、前年(10.7%)から微減した。利用したことのある回答をした128人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」63.3%、「やや満足」32.8%で、概ね満足と回答した割合は96.1%であった。
- ✓ 「やや不満」3.9%で、「不満」と回答した学生はいなかった。蔵書数に関する不満の内容を回答した自由記載内容として、「同じ本をもっといっぱい置いて欲しい」という回答があった。

図書館を利用したことのない学生は1～3年生で散見し、4年生はいない状況であった。利用したことのある学生では9割強は蔵書数に満足している結果となった。

(2) 図書館の環境・設備(図書検索、グループワーク室等)に対する満足度

● 5：満足	82	(57.7%)
● 4：やや満足	40	(28.2%)
● 3：やや不満	4	(2.8%)
● 2：不満	3	(2.1%)
● 1：利用したことがなくわからない	13	(9.2%)



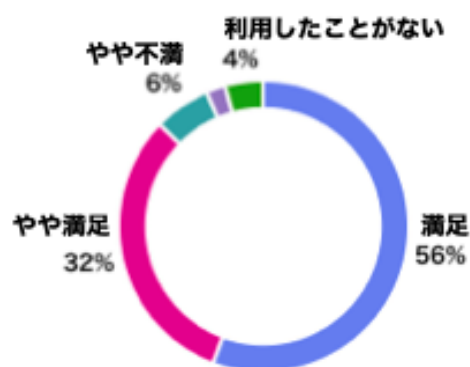
「利用経験なし」と回答した学生は13人(9.1%) /142人で、前年(10.2%)とほぼ同率であった。利用したことがある回答をした129人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」63.6%、「やや満足」31.0%で、概ね満足と回答した割合は94.6%であった。
- ✓ 「不満」2.3%、「やや不満」3.1%で、不満を挙げた割合は5.4%であった。
- ✓ 自由記載では、「図書館グループワーク室でPCを使用したかったが、WiFi接続が悪く結局使用できなかった」という回答があった。

図書検索やグループワーク室等を利用したことのない学生の割合は横ばいであり、9割の学生は図書館の環境・設備に満足しているが、図書館のグループワーク室の環境(Wi-Fi接続環境)に関する指摘があった。

(3) 自習室の環境（広さ、照明、空調等）に対する満足度

● 5：満足	79	(55.6%)
● 4：やや満足	45	(31.7%)
● 3：やや不満	9	(6.3%)
● 2：不満	3	(2.1%)
● 1：利用したことがなくわからない	6	(4.2%)



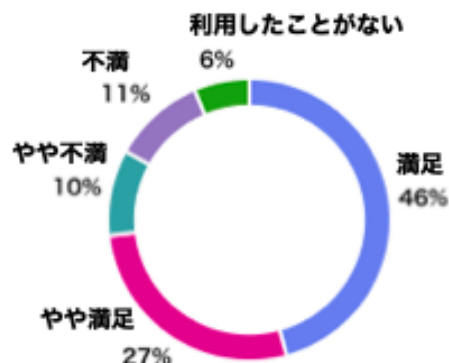
「利用経験なし」と回答した学生は6人(4.2%) /142人で、前年(6.8%)から減少した。利用したことがある回答をした136人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」58.1%、「やや満足」33.1%で、概ね満足と回答した割合は91.2%であった。
- ✓ 「不満」2.2%、「やや不満」6.6%で、不満感を回答した割合は8.8%であった。
- ✓ 自由記載では、「休日も空けて欲しい」「開放時間を長くしてほしい」という意見があった。

自習室の利用経験がある学生の割合は95.8%で、昨年よりも若干増加していた。利用した学生の9割は満足しているが、自習室の開放日や時間に関する要望があった。

(4) 自習室の設備（パソコン、Wi-Fi、複合機等）に対する満足度

● 5：満足	65	(45.8%)
● 4：やや満足	39	(27.5%)
● 3：やや不満	14	(9.9%)
● 2：不満	15	(10.6%)
● 1：利用したことがなくわからない	9	(6.3%)



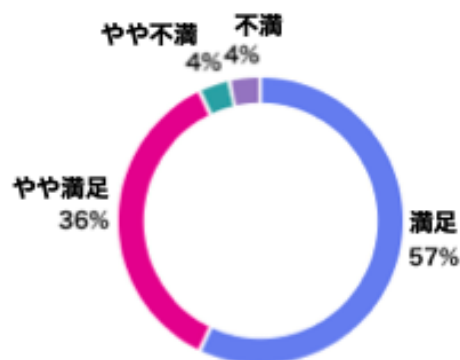
「利用経験なし」と回答した学生は9人(6.3%) /142人で、前年(7.9%)から微減している。利用したことがある旨の回答をした133人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」48.9%、「やや満足」29.3%で、概ね満足と回答した割合は78.2%であった。
- ✓ 「不満」11.3%、「やや不満」10.5%で、不満感を回答した割合は21.8%であった。
- ✓ 自由記載で記載された不満の内容としては「Wi-Fiが繋がらない」「PCや印刷機の不調が多い」などが多かった

自習室の設備は9割以上の学生が利用しており、そのうち8割の学生は満足しているが、前年度に引き続きWi-Fi接続やPCと複合機の接続についての改善を求める回答が多かった。

(5) 講義室・演習室の環境（広さ、照明、音響等）に対する満足度

● 5：満足	81 (57.0%)
● 4：やや満足	51 (35.9%)
● 3：やや不満	5 (3.5%)
● 2：不満	5 (3.5%)
● 1：利用したことがなくわからない	0 (0%)

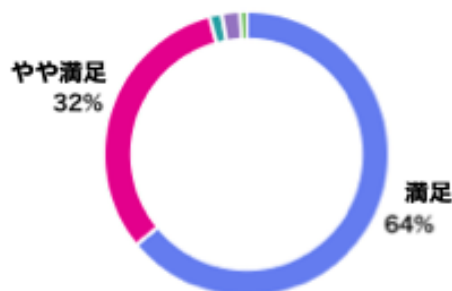


- ✓ 「満足」57.0%、「やや満足」35.9%で、概ね満足と回答した割合は全体の9割強であった。
- ✓ 「不満」3.5%、「やや不満」3.5%で、不満感を回答した割合は7.0%であった。
- ✓ 自由記載では、講義室モニターの見づらさ、空調設備の不具合（暑すぎる・寒すぎる・ニオイがする）を指摘する回答があった。

講義室・演習室はほぼ全員の学生が利用し、9割強の学生は満足しているが、講義室の音響（モニター）や空調について改善を求める意見があった。

(6) 学生会館（食堂含む）の環境（広さ、照明、空調等）に対する満足度

● 5：満足	91 (64.1%)
● 4：やや満足	45 (22.5%)
● 3：やや不満	2 (1.4%)
● 2：不満	3 (2.1%)
● 1：利用したことがなくわからない	1 (0.7%)

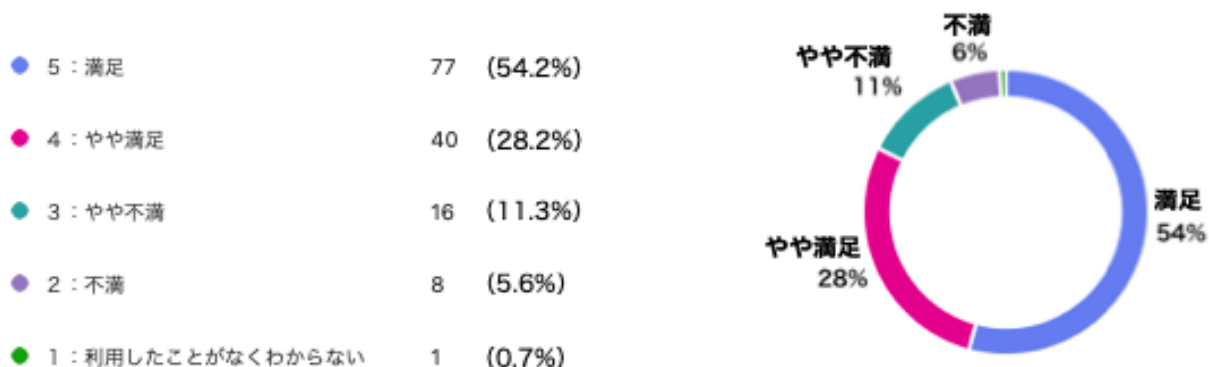


「利用経験なし」と回答した学生は1人(0.7%) / 142人で、前年(1.7%)より少なかった。利用したことがある回答をした141人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」64.5%、「やや満足」31.9%で、概ね満足という回答の割合は96.5%であった。
- ✓ 「不満」2.1%、「やや不満」1.4%で、不満感を回答した割合は3.5%であった。
- ✓ 自由記載には、学生会館・食堂に対する意見や要望に関する記載はなかった。

学生会館はほぼ全員の学生が利用し、9割強の学生は満足していた。

(7) 学生会館（食堂含む）の施設・設備（演習室・Wi-Fi等）に対する満足度

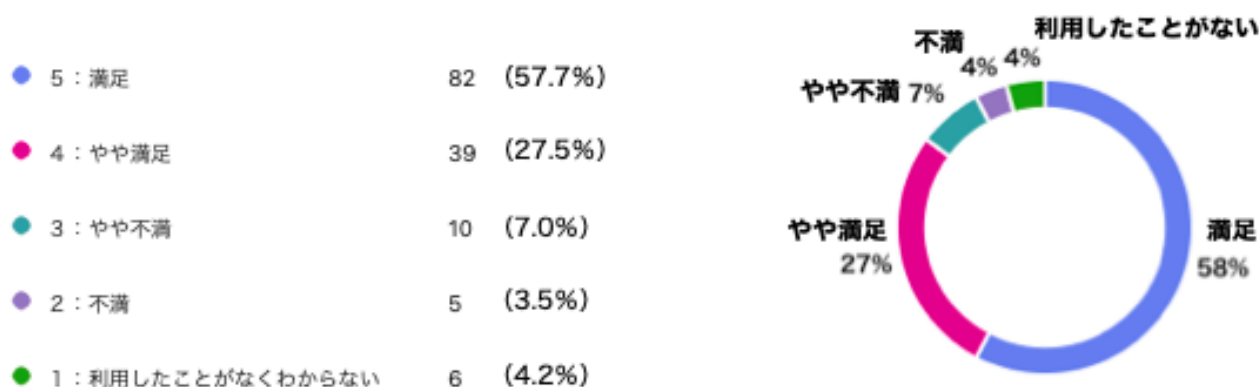


「利用経験なし」と回答した学生は1人(0.7%) /142人で、前年(2.3%)よりも減少した。利用したことがあると回答した141人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」54.6%、「やや満足」28.4%で、概ね満足と回答した割合は83.0%であった。
- ✓ 「不満」5.7%、「やや不満」11.3%で、不満感を回答した割合は17.0%であった。
- ✓ 自由記載では、Wi-Fiが繋がりにくいことに対して改善を求める意見が多数あり、これは昨年度調査とオボ同じ内容であった。

学生会館の施設・設備はほぼ全員の学生が利用し、8割の学生は満足しているが、通信環境(Wi-Fi)の改善を求める意見が多数見られた。

(8) 上記屋内施設の開放時間に対する満足度



図書館・講義室・自習室・演習室・学生会館の屋内施設を1つにまとめて、開放時間の設問とした。

「利用経験なし」と回答した学生は6人(4.2%) /142人で、前年(5.6%)より僅かに減少した。利用したことがある旨の回答をした136人について、満足度の内訳を以下に示した。

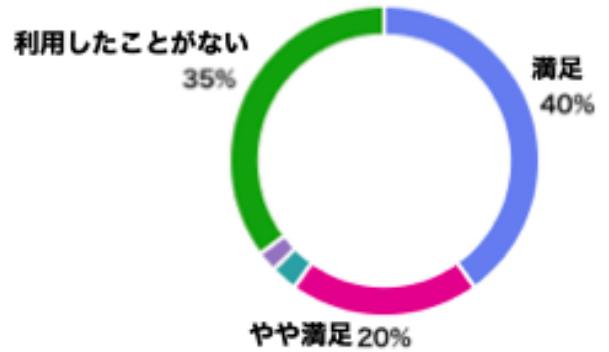
- ① 「満足」60.3%、「やや満足」28.7%で、概ね満足と回答した割合は89.0%であった。
- ② 「不満」3.7%、「やや不満」7.4%で、何かしらの不満を回答した割合は11.0%であった。
- ③ 自由記載では、自習室・演習室の日曜祝日の開放、学生会館の24時間開放を求める意見があった。

図書館・講義室・自習室・演習室・学生会館の屋内施設はほぼ全員の学生が利用し、9割弱の学生は満足しているが、自習室・演習室の日曜日および終日の開放を求める意見があった。

「Ⅲ. 屋外施設」について

(1) 駐輪場（設置場所、駐輪可能数）に対する満足度

● 5：満足	57 (40.1%)
● 4：やや満足	28 (19.7%)
● 3：やや不満	4 (2.8%)
● 2：不満	3 (2.1%)
● 1：利用したことがなくわからない	50 (35.2%)



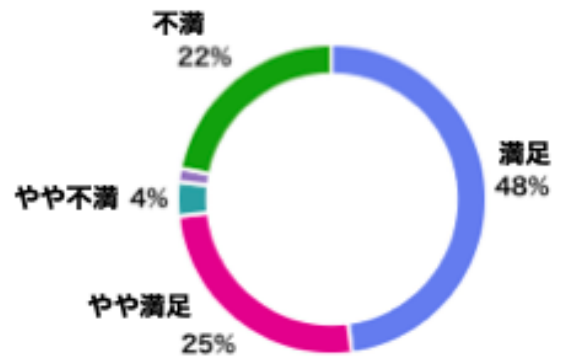
「利用経験なし」と回答した学生は50人（35.2%）/142人で、前年（30.5%）より少し増加していた。利用経験がある旨の回答をした92人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」62.0%、「やや満足」30.4%で、概ね満足と回答した割合は92.4%であった。
- ✓ 「不満」3.3%、「やや不満」4.3%で、何かしら不満を回答している割合は7.6%であった。

駐輪場は64.8%の学生が利用し、うち9割強の学生が満足していた。

(2) 体育館に対する満足度

● 5：満足	68 (47.9%)
● 4：やや満足	36 (25.4%)
● 3：やや不満	5 (3.5%)
● 2：不満	2 (1.4%)
● 1：利用したことがなくわからない	31 (21.8%)



「利用経験なし」と回答した学生は31人（21.8%）/142人で、前年（18.1%）よりも微増していた。

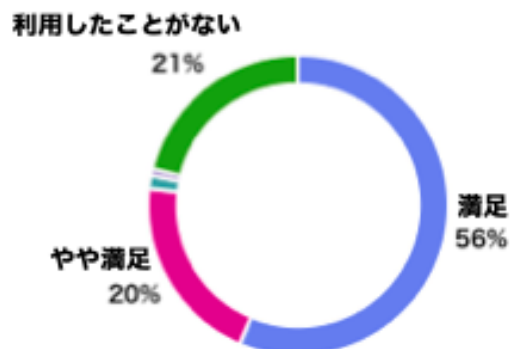
利用したことがある旨の回答を得た111人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」61.3%、「やや満足」32.4%で、概ね満足していると回答した割合は93.7%であった。
- ✓ 「不満」1.8%、「やや不満」4.5%で、不満感を持っている回答は6.3%であった。
- ✓ 自由記載では、体育館に空調設備の設置を求める意見があった。

体育館は8割強の学生が利用しているが、利用経験のない学生が一定数おり、体育館に空調設備の設置を求める意見がある。

(3) 警備員巡視や夜間の照明など、セキュリティに対する満足度

● 5：満足	80	(56.3%)
● 4：やや満足	29	(20.4%)
● 3：やや不満	2	(1.4%)
● 2：不満	1	(0.7%)
● 1：利用したことがなくわからない	30	(21.1%)



「利用経験なし」と回答した学生は30人(21.1%) /142人で、前年(16.9%)より約4ポイント増加していた。利用したことがある旨の回答112人について、満足度の内訳を以下に示した。

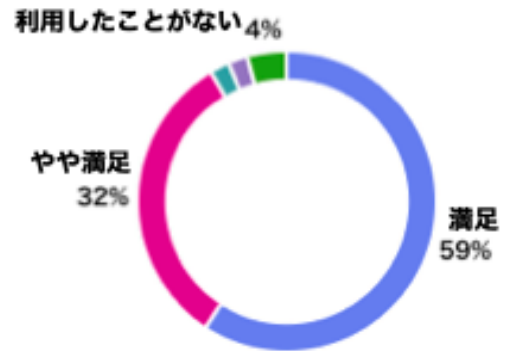
- ✓ 「満足」72.4%、「やや満足」17.9%で、概ね満足としている割合は97.3%であった。
- ✓ 「不満」0.9%、「やや不満」1.8%で、不満感を回答している割合は2.7%であった。

警備員巡視や夜間の照明などのセキュリティはほぼ全員の学生が利用し、利用経験のある学生の割合が増え、学生は概ね満足している。

「Ⅳ. 大学生生活全般」について

(1) シラバス・項目構成の説明に対する満足度

● 5：満足	84	(59.2%)
● 4：やや満足	46	(32.4%)
● 3：やや不満	3	(2.1%)
● 2：不満	3	(2.1%)
● 1：利用したことがなくわからない	6	(4.2%)



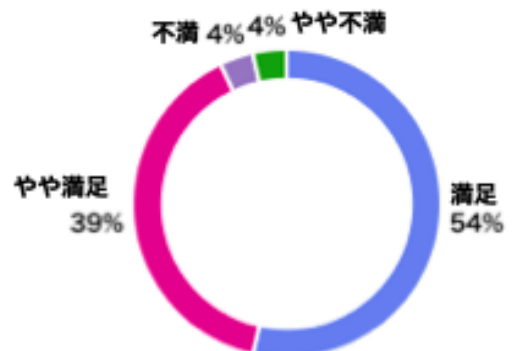
「利用経験なし」と回答した学生は6人(4.2%) /142人で、前年(2.8%)よりも若干増加した。また、それ以外の学生136人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」61.8%、「やや満足」33.8%で、概ね満足と回答した割合は95.6%であった。
- ✓ 「不満」2.2%、「やや不満」2.2%で、不満感を回答した割合は4.4%であった。

シラバス・項目構成の説明はほぼ全員の学生が利用し、9割強の学生は満足している結果であった。

(2) 進級支援(成績管理、履修登録制度)の説明に対する満足度

● 5：満足	76	(53.5%)
● 4：やや満足	56	(39.4%)
● 3：やや不満	0	(0.0%)
● 2：不満	5	(3.5%)
● 1：利用したことがなくわからない	5	(3.5%)



「利用経験なし」と回答した学生は5人(3.5%) /142人で、前年(4.0%)といほぼ同率であった。

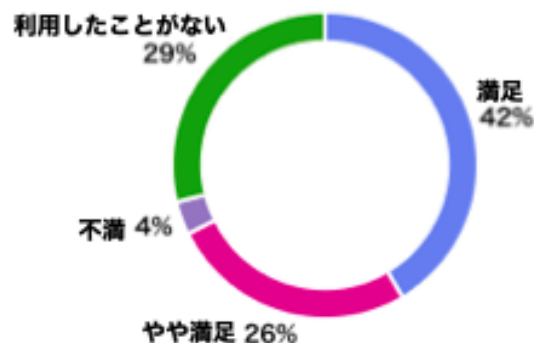
利用経験がある旨の回答をした学生137人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」55.5%、「やや満足」40.9%で、概ね満足と回答した割合は96.4%であった。
- ✓ 「不満」という回答が3.6%あった。

進級支援の利用経験がある学生の割合は横ばいであり、ほぼ全員の学生が進級支援を経験し、9割強の学生は満足している。

(3) 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動に対する満足度

● 5：満足	59	(41.5%)
● 4：やや満足	37	(26.1%)
● 3：やや不満	0	(0.0%)
● 2：不満	5	(3.5%)
● 1：利用したことがなくわからない	41	(28.9%)



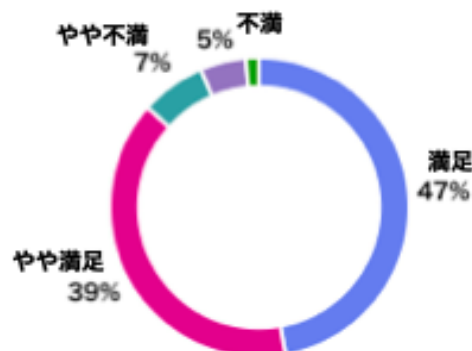
「利用経験なし」と回答した学生は41人（28.8%）/142人で、前年（29.9%）とほぼ同率か、微減という状況であった。利用したことがある旨の回答を得た学生101人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」58.4%、「やや満足」36.3%で、満足であるという旨の回答の割合は95%であった。
- ✓ 「やや不満」と回答したのは5%で、「不満」という回答はなかった。ただし、自由記載で「自治会自体が何をしているのかわからない」という記載があった。

学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の経験がない学生は約3割で、活動経験がある学生のうち9割強の学生は満足している。

(4) 事務職員の対応(受付時間、丁寧さ)に対する満足度

● 5：満足	67	(47.2%)
● 4：やや満足	56	(39.4%)
● 3：やや不満	10	(7.0%)
● 2：不満	7	(4.9%)
● 1：利用したことがなくわからない	2	(1.4%)



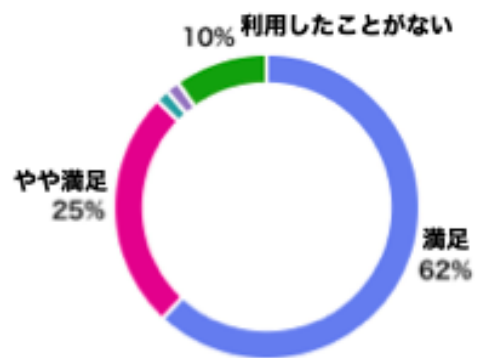
「利用経験なし」と回答した学生は2人（1.4%）/142人で、前年（2.3%）より減少した。利用経験のある回答を得た140人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」47.9%、「やや満足」40.0%で、概ね満足であるという回答は87.9%であった。
- ✓ 「不満」5.0%、「やや不満」7.1%で、不満を感じたという旨の回答の割合は12.1%であった。
- ✓ 自由記載では、「せめて、18時半まで空けておいて欲しい」という意見があり、前年度と同様、5限目以降の受付時間延長を求める意見があった。

事務職員の対応はほぼ全員の学生が経験し、8割強の学生は満足しているが、5限目以降の受付時間延長を求める意見がある。

(5) 保健室や健康診断など健康面の支援体制に対する満足度

● 5：満足	88	(62.0%)
● 4：やや満足	36	(25.4%)
● 3：やや不満	2	(1.4%)
● 2：不満	2	(1.4%)
● 1：利用したことがなくわからない	14	(9.9%)



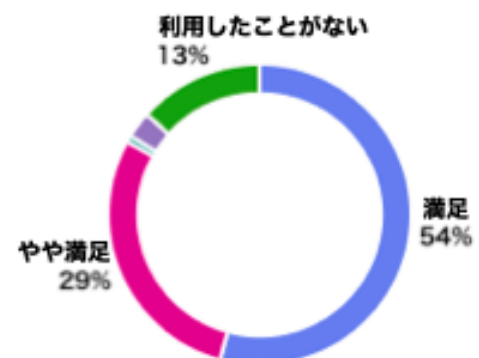
「利用経験なし」と回答した学生は14人(9.9%) /142人で、前年(6.2%)より増加している。利用した旨の回答を得た学生128人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」68.8%、「やや満足」28.1%で、概ね満足という回答をした割合は96.9%であった。
- ✓ 「不満」1.6%、「やや不満」1.6%で、不満を回答した割合は3.2%であった。
- ✓ 自由記載では「健康診断は、1年次以降は実施項目が少ないので、せめて毎学年で血液検査があると自分の健康についてもよく理解できると感じた。」という意見があった。

保健室や健康診断など健康面の支援体制は9割の学生が利用し、利用経験のある学生の割合が微増し、学生は概ね満足している。

(6) 奨学金やアルバイト紹介など経済的な支援に対する満足度

● 5：満足	77	(54.2%)
● 4：やや満足	41	(28.9%)
● 3：やや不満	1	(0.7%)
● 2：不満	4	(2.8%)
● 1：利用したことがなくわからない	19	(13.4%)



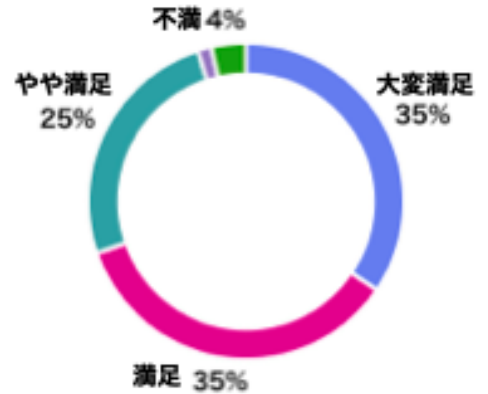
「利用経験なし」と回答した学生は19人(13.4%) /142人で、前年(14.1%)とほぼ同率か、微減していた。利用した旨の回答をした学生123人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ✓ 「満足」62.6%、「やや満足」33.3%で、満足であるという旨の回答の割合は95.9%であった。
- ✓ 「不満」3.3%、「やや不満」0.8%で、不満であるという旨の回答の割合は4.1%であった。

奨学金やアルバイト紹介などの利用経験のある学生は86.6%で、昨年に続いて微減している傾向にある。

Ⅳ. 総合的な学生生活」に対する満足度について

● 5：大変満足	49	(34.5%)
● 4：満足	50	(35.2%)
● 3：やや満足	36	(25.4%)
● 2：やや不満	2	(1.4%)
● 1：不満	5	(3.5%)

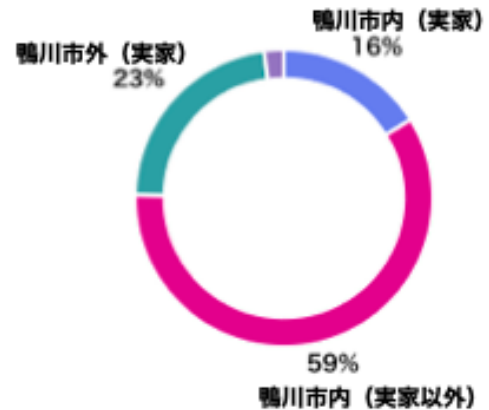


- ✓ 「大変満足」34.5%、「満足」35.2%、「やや満足」25.4%であり、満足であるという旨の回答の割合は95.1%であった。
前年は「大変満足」29.9%、「満足」41.8%、「やや満足」19.2%で、満足という旨の回答の割合は90.9%であった。
- ✓ 「不満」3.5%、「やや不満」1.4%で、不満である旨の回答の割合は4.9%であった。
前年は「不満」1.7%、「やや不満」7.3%を合わせた割合は、9.0%であった。
9割以上の学生は総合的な学生生活に満足しており、その比率は昨年度より増加していた。

「Ⅵ. 現在の生活状況」に関する実態

(1) 通学の状況（どこから通学しているか）について

● 1：鴨川市内（実家）	23	(16.2%)
● 2：鴨川市内（実家以外）	84	(59.2%)
● 3：鴨川市外（実家）	32	(21.8%)
● 4：鴨川市外（実家以外）	3	(2.1%)

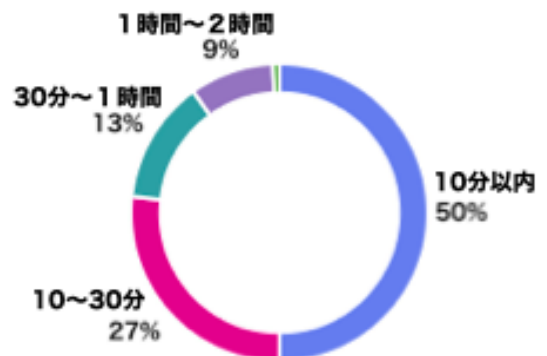


- ✓ 鴨川市内より通学している学生は、「鴨川市内（実家）」16.2%、「鴨川市内（実家以外）」59.2%を合わせて75.4%であり、前年の「鴨川市内（実家）」14.7%、「鴨川市内（実家以外）」60.5%の合計75.2%とほぼ同率であった。
- ✓ 鴨川市外より通学している学生は、「鴨川市外（実家）」21.8%、「鴨川市外（実家以外）」2.1%を合わせて24.6%であり、前年の「鴨川市外（実家）」23.2%、「鴨川市外（実家以外）」1.7%を合わせて24.9%とほぼ同率であった。

鴨川市内に居住している学生は7割強で、鴨川市外に居住している学生はほとんどが実家から通学している。

(2) 通学時間（片道）について

● 1：10分以内	71	(50.0%)
● 2：10～30分	38	(26.8%)
● 3：30分～1時間	19	(13.4%)
● 4：1時間～2時間	13	(9.2%)
● 5：2時間以上	1	(0.7%)

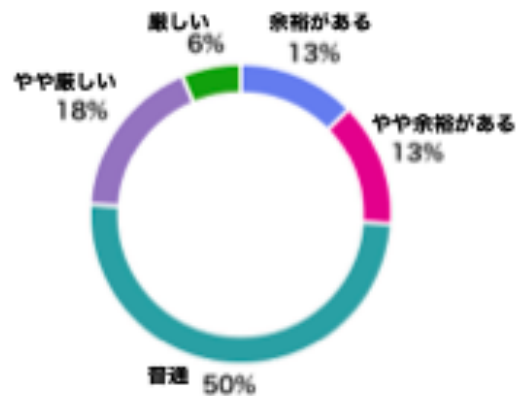


- ✓ 通学時間（片道）が「10分以内」50.0%、「10～30分以内」26.8%で、30分以内の学生が76.8%を占めている。前年は「10分以内」46.3%、「10～30分以内」29.4%で30分以内の学生は75.7%であり、ほぼ同率となった。
- ✓ 通学時間（片道）が「30分～1時間」13.4%、「1～2時間」13%、「2時間以上」0.7%で、通学に30分以上の学生の割合は23.2%であった。前年は「30分～1時間」14.1%、「1～2時間」9.6%、「2時間以上」0.6%で30分以上かけている学生の割合は24.3%であり、昨年度とほぼ同率であった。

通学時間（片道）が30分以内の学生は8割で、1時間以内の学生は9割である。

(3) 経済状況について

● 1：余裕がある	18	(12.7%)
● 2：やや余裕がある	19	(13.4%)
● 3：普通	71	(50.0%)
● 4：やや厳しい	25	(17.6%)
● 5：厳しい	9	(6.3%)

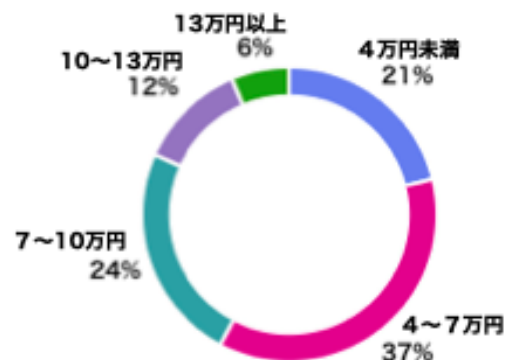


- ✓ 「余裕がある」12.7%、「やや余裕がある」13.4%を合わせた割合は26.1%であり、前年の18.6%（「余裕がある」7.3%、「やや余裕がある」11.3%）より増加していた。
- ✓ 「普通」という回答が50.0%で最も多く、前年の55.4%に比べて5.4ポイント減少していた。
- ✓ 「厳しい」6.3%、「やや厳しい」17.6%を合わせた割合は23.9%であり、前年の25.9%（「厳しい」9.0%、「やや厳しい」16.9%）よりやや減少していた。

経済状況が「普通」の学生は半数強で最も多く、「厳しい」「やや厳しい」が3割弱、「余裕がある」「やや余裕がある」が3割弱を占めていた。

(4) 毎月の生活費（住居費、水道・光熱費、食費、交通費、交際費など）について

● 1：4万円未満	30	(21.1%)
● 2：4万～7万円未満	52	(36.6%)
● 3：7万～10万円未満	34	(23.9%)
● 4：10万～13万円未満	17	(12.0%)
● 5：13万円以上	9	(6.3%)

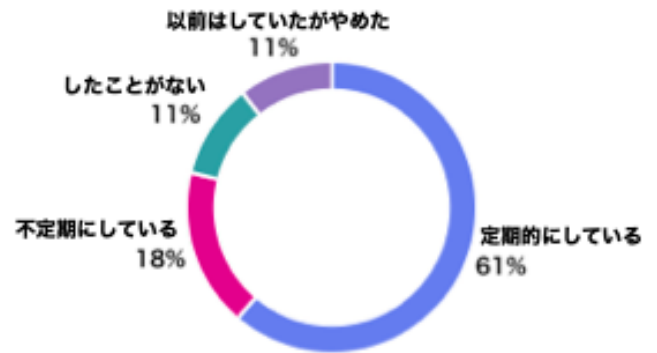


毎月の生活費は、「4～7万円」と回答した学生が36.6%（昨年度40.1%）で最も多く、次いで「7～10万円」が23.9%（昨年度は23.2%）、「4万円未満」が21.1%（昨年度は18.1%）、「10～13万円」が12.0%（昨年度は11.3%）、「13万円以上」は6.3%（昨年度は7.3%）の順であった。

毎月の生活費が「4～7万円」の学生は4割弱で最も多く、8割の学生は10万円未満である。また、4万円未満と回答した割合が昨年よりも3ポイント増加していた。

(5) アルバイトの状況について

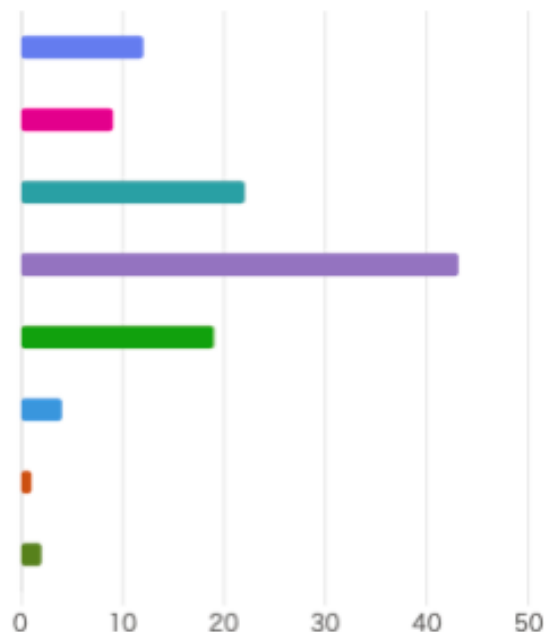
● 1：定期的に行っている	87	(61.3%)
● 2：不規則に行っている	25	(17.6%)
● 3：したことがない	15	(10.6%)
● 4：以前はしていたがやめた	15	(10.6%)



- ✓ 「定期的に行っている」は61.3%（前年は54.8%）、「不規則に行っている」は17.6%（前年は18.6%）で定期的に行っている学生の割合が増加している。アルバイトをしている割合は全体で78.9%で、前年の73.4%、さらに前々年の70.5%よりも増加傾向にある。
- ✓ 「以前はしていたがやめた」10.6%を加味すると、アルバイト経験のある学生の割合は89.4%であった。
- ✓ 「したことがない」と回答した学生は10.6%であり、前年の12.4%のより微減していた。
定期的に行っている学生は過半数で、その割合は昨年よりも増加傾向にある。

(6) 平日アルバイトの1日あたりの平均時間

● 1：1時間	12	(10.7%)
● 2：2時間	9	(8.0%)
● 3：3時間	22	(19.6%)
● 4：4時間	43	(38.4%)
● 5：5時間	19	(17.0%)
● 6：6時間	4	(3.6%)
● 7：7時間	1	(1.9%)
● 8：8時間以上	2	(1.8%)



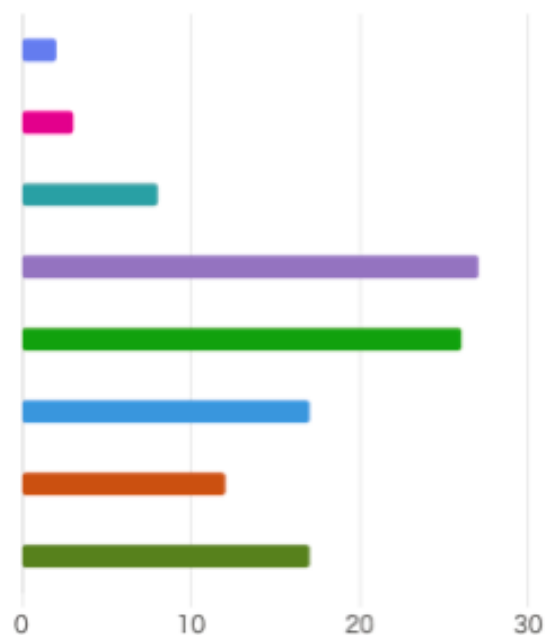
上記VI- (5) で、アルバイトを「定期的に行っている」「不規則に行っている」と回答した学生112名から回答を得た。

- ✓ 「4時間」(38.4%)が最も多く、次いで「3時間」(19.6%)、「5時間」(17.0%)、「1時間」(10.7%)であり、第1位から第4位までを合わせた割合は85.7%であった。

平日アルバイトの1日あたりの平均時間が「4時間」の学生は約3割で最も多く、5時間までの学生の割合は93.8%である。また、6時間以上の学生は6.3%であった。

(7) 休日アルバイトの1日あたりの平均時間

● 1：1時間	2	(1.8%)
● 2：2時間	3	(2.7%)
● 3：3時間	8	(7.1%)
● 4：4時間	27	(24.1%)
● 5：5時間	26	(23.2%)
● 6：6時間	17	(15.2%)
● 7：7時間	12	(10.7%)
● 8：8時間以上	17	(15.2%)

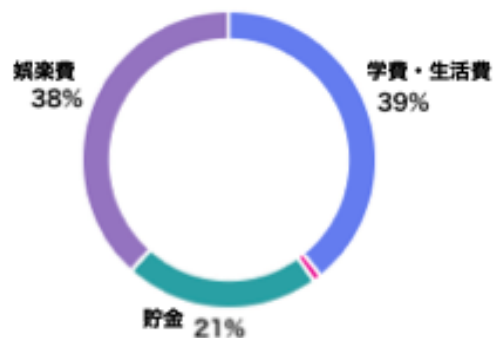


上記VI- (5) で、アルバイトを「定期的に行っている」「不定期に行っている」と回答した学生 112 名から回答を得た。

- ✓ 「4時間」(24.1%) が最も多く、次いで「5時間」(23.2%) であった。5時間以内の割合は 56.2%であった。
- ✓ 休日アルバイトの1日あたりの平均時間が「6時間」以上の学生は 41.1%を占めていた。

(8) アルバイトをしている最大の理由について

● 1：学費・生活費にあてるため	44	(39.3%)
● 2：部・サークル活動費	1	(0.9%)
● 3：貯金	24	(21.4%)
● 4：娯楽費	43	(38.4%)
● その他	0	(0.0%)



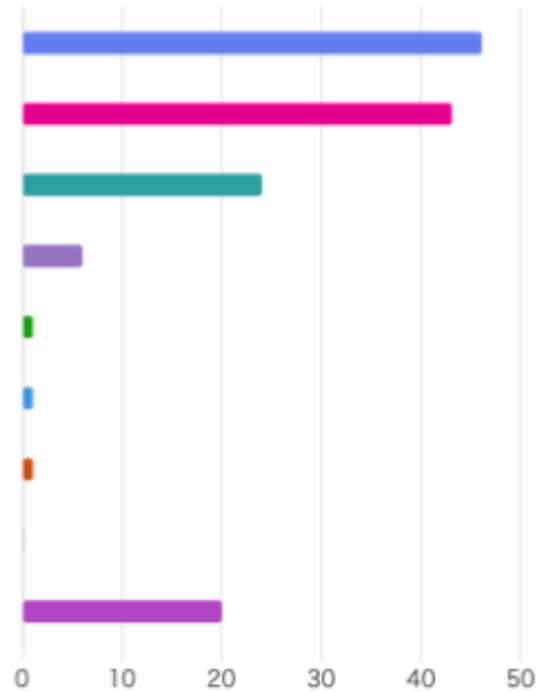
上記VI- (5) で、アルバイトを「定期的に行っている」「不定期に行っている」と回答した学生 112 名から回答を得た。

- ✓ 「学費・生活費にあてるため」が 39.3%で最も多かったが、前年の 49.2%より 10ポイント減少していた。前々年の 55.0%であったので、年々減少傾向にある。
- ✓ 「貯金」が 21.4%で、前年の 12.3%よりも増加している。

「Ⅵ. 修学の状況」に関する実態

(1) 平日の1日あたりの授業外学習時間について

● 1：1時間	46	(32.4%)
● 2：2時間	43	(30.3%)
● 3：3時間	24	(16.9%)
● 4：4時間	6	(4.2%)
● 5：5時間	1	(0.7%)
● 6：6時間	1	(0.7%)
● 7：7時間	1	(0.7%)
● 8：8時間以上	0	(0%)
● 9：特にしていない	20	(14.1%)

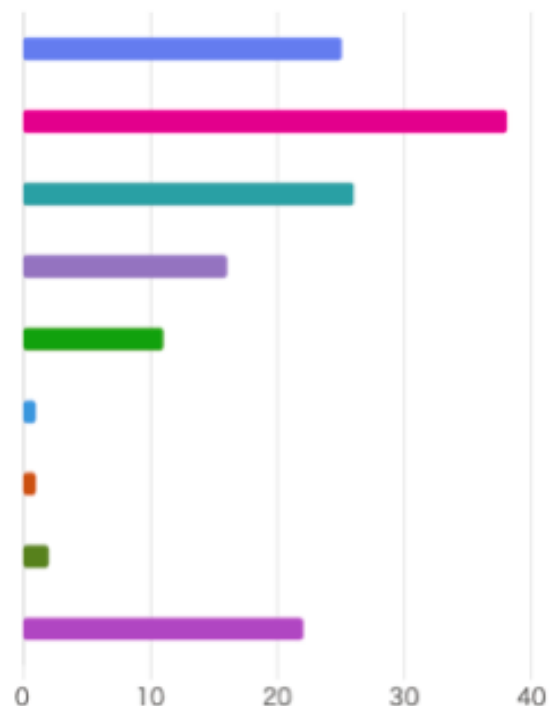


- ✓ 最も多かったのは「1時間」(32.4%)で、ついで「2時間」(30.3%)、「3時間」(16.9%)と続く。前年は「2時間」(30.5%)が最も多く、次いで「1時間」(28.8%)、「3時間」(18.1%)であった。3時間以内の学習が79.6%を占めており、前年度は3時間以内の学習は77.4%であった。
- ✓ 4時間以上の学習は6.3%で、前年は9.1%であった。
- ✓ 「特にしていない」は14.1%であり、前年は13.6%であり微増していた。

昨年と比較し、学習時間が短くなる傾向が見られ、特にしていない学生が微増している状況であった。

(2) 休日の1日あたりの授業外学習時間について

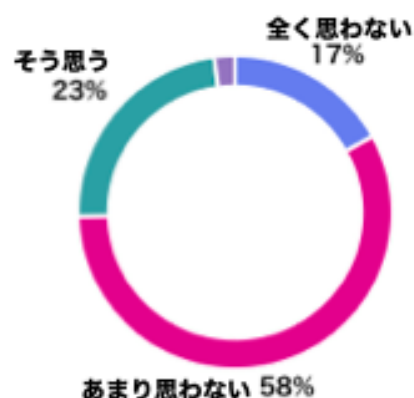
● 1：1時間	25	(17.6%)
● 2：2時間	38	(26.8%)
● 3：3時間	26	(18.3%)
● 4：4時間	16	(11.3%)
● 5：5時間	11	(7.7%)
● 6：6時間	1	(0.7%)
● 7：7時間	1	(0.7%)
● 8：8時間以上	2	(1.4%)
● 9：特にしていない	22	(15.5%)



- ✓ 「2時間」26.8%が最も多く、ついで「3時間」18.3%。「1時間」17.6%と続く。昨年は「3時間」22.0%が最も多く、次いで「1時間」21.5%、「2時間」18.6%であった。
 - ✓ 学習時間5時間までを集計すると81.7%で、前年は70.8%であった。
 - ✓ 6時間以上学習している割合は、今年は2.8%で、昨年は5.1%であった。
 - ✓ 「特にしていない」のは、今年は15.5%で昨年は14.7%であった。
- 休日の1日あたりの授業外学習時間は「2時間」の学生が最も多く、3時間までの学生が約6割を占める。

(3) 授業全般を平均してみた、授業についていけないと思うことがあるか

● 1：全く思わない	24	(16.9%)
● 2：あまり思わない	82	(57.7%)
● 3：そう思う	33	(23.2%)
● 4：強くそう思う	3	(2.1%)

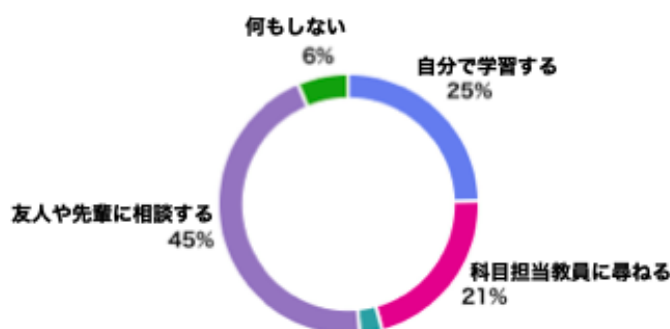


- ✓ 「全く思わない」16.9%、「あまり思わない」57.7%を合わせた割合は74.6%であり、前年の70.1%（「全く思わない」15.3%、「あまり思わない」54.8%）より増加していた。
- ✓ 「強くそう思う」2.1%、「そう思う」23.2%を合わせた割合は25.4%であり、前年の30.0%（「強くそう思う」5.1%、「そう思う」24.9%）よりやや減少していた。

授業全般を平均して7割の学生は授業に遅れを感じていないが、授業についていけないと思う学生が3割弱いることが明らかとなった。

(4) 授業で不明点があった場合に」どのように対応しているか

● 1：自分で学習する	35	(24.6%)
● 2：科目担当教員に尋ねる	30	(21.1%)
● 3：チューターに尋ねる	4	(2.8%)
● 4：友人や先輩に相談する	64	(45.1%)
● 5：何もしない	9	(6.3%)



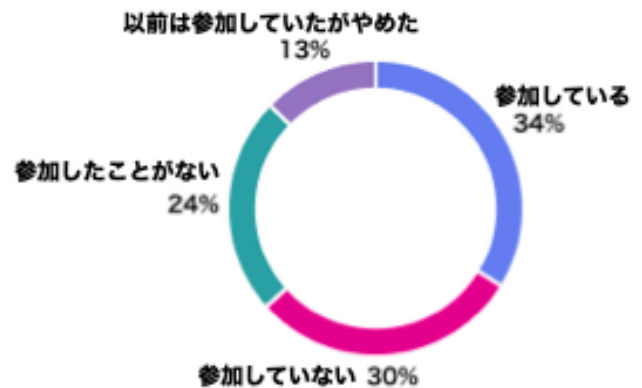
- ✓ 「友人や先輩に相談する」45.1%が最も多く、前年の50.8%よりも若干減少していた。
- ✓ 「自分で学習する」24.6%が次に多く、前年の29.9%より若干減少していた。
- ✓ 「科目担当教員に尋ねる」21.1%は前年の16.9%で若干増加していた。
- ✓ 「何もしない」が6.3%であり、前年の1.7%よりも増加していた。

授業で不明点があった場合、「友人や先輩に相談する」「自分で学習する」「科目担当教員に尋ねる」が主な対応であるが、「何もしない」学生が増加していた。

「Ⅷ. 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動」に関する実態

（１）学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の参加状況について

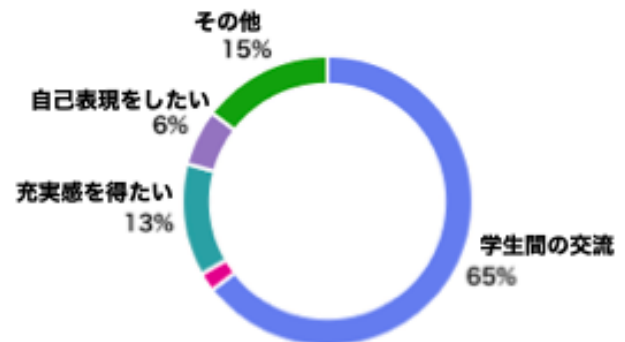
● 1：参加している	48	(33.8%)
● 2：参加していない	42	(29.6%)
● 3：参加したことがない	34	(23.9%)
● 4：以前は参加していたがやめた	18	(12.7%)



- ✓ 「参加している」33.8%、「以前は参加していたがやめた」12.7%を合わせた割合は46.5%であり、前年39.0%（「参加している」28.8%、「以前は参加していたがやめた」10.2%）より増加している。
 - ✓ 「参加していない」29.8%、「参加したことがない」23.9%で、合わせた割合は53.5%であり、前年61.0%（「参加していない」「参加したことがない」同率30.5%）よりやや減少していた。
- 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動に参加経験のある学生が若干増加していた。

（２）学生自治会・学生団体（部、サークル）活動参加の最大の目的について

● 1：学生間の交流	31	(64.6%)
● 2：教員との交流	1	(2.1%)
● 3：充実感を得たい	6	(12.5%)
● 4：自己表現をしたい	3	(6.3%)
● その他	7	(14.6%)



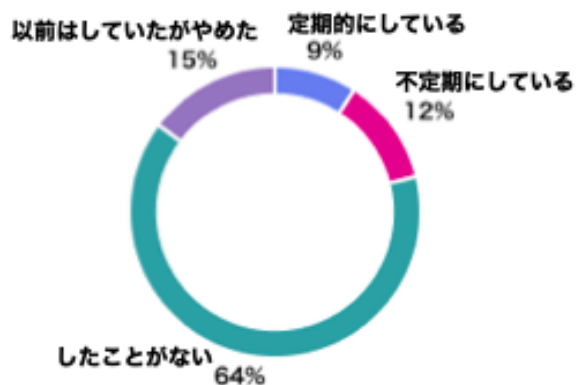
上記Ⅷ-（１）で、学生自治会・学生団体（部、サークル）活動に「参加している」と回答した学生48名から回答を得た。

- ✓ 「学生間の交流」64.6%が最も多く、前年（64.6%）とほぼ同率であった。
- ✓ 「充実感を得たい」は12.5%で前年の25.5%よりも比率としては減少していた。
- ✓ 「自己表現したい」と回答した割合が6.3%で、前年は「自己表現したい」という回答がなかった。
- ✓ 「その他」14.6%の内訳は、「運動したい」、「運動が好き」という回答のほか、「バドミントンが好きだから」「就職のときに少しでも履歴書の空欄を埋めるため」という回答もあった。

学生自治会・学生団体（部、サークル）活動参加の目的は、学生間の交流が6割強で最も多い。

(3) ボランティア活動の経験について

● 1：定期的に行っている	13	(9.2%)
● 2：不定期に行っている	17	(12.0%)
● 3：したことがない	91	(64.1%)
● 4：以前は行っていたがやめた	21	(14.8%)



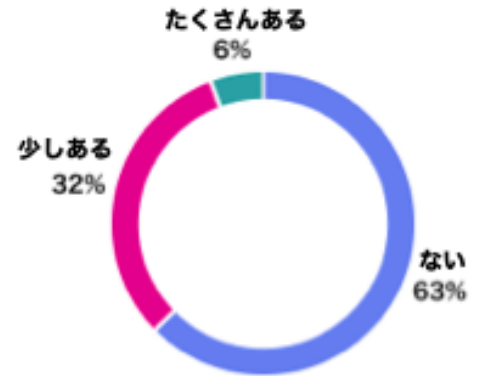
- ✓ 「したことがない」が64.1%と最も多く、前年の62.1%より微増していた。
- ✓ 次位は「以前は行っていたがやめた」14.8%で、前年の15.8%よりやや少なかった。
- ✓ 「不定期に行っている」は12.0%で、前年の17.5%より少なかった。
- ✓ 「定期的に行っている」は9.2%で最も少なかったが、前年は4.5%、前々年は6.6%と比較すると若干多かった。

ボランティア活動をしたことがない学生は6割強で例年とほぼ同率であった。

「IX. 学生生活の悩み」に関する実態

(1) 現在、悩みがあるか

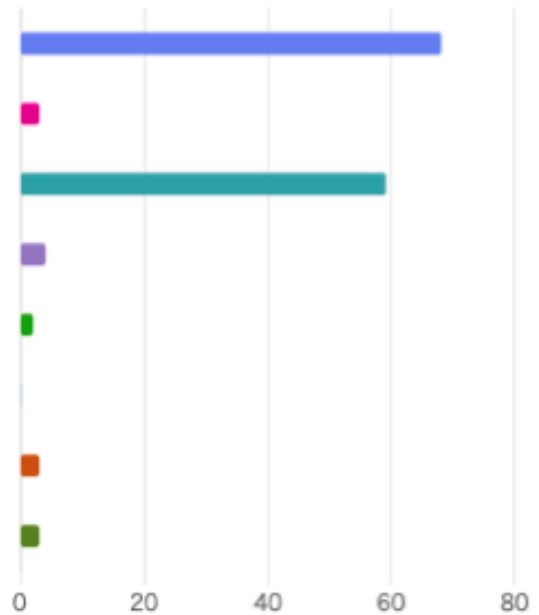
● 1：ない	89	(62.7%)
● 2：少しある	45	(31.7%)
● 3：たくさんある	8	(5.6%)



- ✓ 「ない」62.7%が最も多く、前年は65.0%、前々年は58.6%と比較すると微増減はあるが例年通りであった。
- ✓ 「たくさんある」は5.6%で、前年は5.6%で同率、前々年は7.9%と比較すると減少している。現在の学生生活の悩みがない学生は6割強で、悩みのある学生は3割強で前々年よりも減少していた。

(2) 不安や悩みがある時の主な相談相手について

● 1：友人	68	(47.9%)
● 2：先輩	3	(2.1%)
● 3：家族	59	(41.5%)
● 4：チューターの教員	4	(2.8%)
● 5：チューター以外の教員	2	(1.4%)
● 6：カウンセラーなどの専門家	0	(0.0%)
● 7：相談できる人がいない	3	(2.1%)
● その他	3	(2.1%)



- ✓ 「友人」47.9%がもっと多かった。前年は57.6%であり減少していた。「家族」35.0%を合わせると92.6%であり、前年の83.7%（「友人」59.0%、「家族」24.7%）から約9ポイント増加していた。
- ✓ 次位は「家族」は41.5%で、前年は24.7%であり増加していた。
- ✓ 「チューターの教員」2.8%、「チューター以外の教員」1.4%は前年とほぼ同率だった。
- ✓ 「カウンセラーなどの専門家」は0%であった。
- ✓ 「相談できる人が身近にいない」は2.1%で、前年の1.7%とほぼ同率であった。
- ✓ 「その他」3名（1.1%）は「相談しない」と回答した。

不安や悩みがある時の主な相談相手は友人が過半数を占め、次に家族で、その割合は9割である。相談できる人がいない学生は1.7%で、前年より激減している。チューターの教員、チューター以外の教員、カウンセラーなどの専門家の割合は2.3%と前年より激減している。

「X. 自由記載」の主な内容とその分析結果

項目（件数）	主な内容	分析結果
屋内施設について （8件）	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターを使用可能にしてほしい ・Wi-Fiを強くしてほしい ・自習室（自習できる場所）を増やしてほしい ・演習室や自習室の日曜祝日の開放や開放時間を延長してほしい 	<p>電気料金高騰による節電のためエレベーターの使用禁止や講義室の5限終了後の施錠を行っているが、施設費用を支払っているにも関わらず利用できないことが不満だという意見があった。このことから、節電の実施目的が伝わっていないことが明らかとなった。引き続きエレベーター利用禁止の目的をアナウンスし、啓発することで正しい理解と協力を得る必要がある。</p> <p>また、前年度調査と同様、Wi-Fi接続に関する意見が多く見られた。前年はサーバーのトラブルが関連し、学内のPCやPC関連機器が円滑に使用できなかったことが意見・要望として多かったが、今回の調査では情報処理室の共用PCに関する意見はなく、学内Wi-Fi環境に関する意見・要望のみであった。講義・演習でPCを使用する科目もあることから、引き続き通信環境の整備について検討・改善していく必要がある。</p> <p>演習室等施設の夜間や休日の開放を求める意見については、夜間や休日の施設開放に伴う安全管理上の理由があることを学生に伝え、開放時間が設けられている根拠も含め、学生が理解できるように引き続きアナウンスしていく必要がある。また、自習室を私物の置き場にしている学生がいるなど、自習室の適切な活用がされておらず、使用したい学生が使用できていない現状も散見される。自習室の使用マナーについても引き続きアナウンスしていく必要がある。</p>
屋外施設について （3件）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 駐車場に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・学部生も駐車場使用を許可してほしい ・職員駐車場を利用している学生を注意してほしい 2. 学生住宅について 	<p>前年の調査でも同様に、学部生の無断駐車についての意見があり、今年度より定期的に駐車場の巡回、および無断駐車車両に注意喚起の貼り紙を行っている。引き続き、学部生に無断駐車</p>

	管理を徹底してほしい。	禁止のアナウンスを継続し、大学の対応についても周知徹底していく必要がある。 学生住宅について、居住者（学生）からの騒音などのクレームを受けると、速やかに状況の把握および該当学生への注意を行っている。引き続き、苦情に対する対応とその内容の分析を続けていく。
大学生活全般について（４件）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体育館の使用に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・体育館に扇風機や空調を設置してほしい。 2. 学生住宅について <ul style="list-style-type: none"> 管理を徹底してほしい。 3. 事務の対応に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・事務職員の連絡事項の伝達を早くしてほしい ・問い合わせをした時の対応を早くしてほしい 	<p>体育館の暑さ対策に関する改善を求める声があった。現状では建物の耐震構造などの理由で改修は厳しいことを伝え、使用時は窓を開放して換気を促すなどで対策するようアナウンスする。</p> <p>学生への連絡事項の伝達時期や掲示などの伝達方法については、教職員間で連携を図り、確認を重ねて行うなど改善策を講じていく必要がある。</p>
その他（７件）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義室の指定席は学籍番号での固定席で良い。 ・自販機で軽食を販売してほしい。 ・自販機の内容を変えてほしい。 	<p>近年の学年の受講態度に応じ、講義室での座席指定制度を実施している。その意図を学生に伝達し、座席指定について学生に理解を求めるのと同様に、座席指定によって生じる空調設備の影響などについては学生自身に対策を促すよう説明すると同時に、学習環境を整えるために教員が把握し、改善を講じる必要があると考えられる。</p> <p>自販機の設置や販売内容の変更について、現在業者との検討を行っており、購入者のニーズを考慮しながら進めている。</p>

7. 学生生活満足度に関する評価および改善の方向性

「Ⅰ.学生支援」の各項目において学生の利用が促進されている現状が明らかとなり、学生の満足度では9割以上の評価が得られていた。

「Ⅱ.屋内施設」については概ね利用されており、学生の満足度では8割から9割の評価が得られていた。しかし、自習室の設備（パソコン、Wi-Fi、複合機等）に対する満足度は6割の評価であった。過去に発生した通信環境のトラブルからの復旧と、インターネット環境の改善を進めており、今後も引き続き改善の努力を続ける。

「Ⅲ.屋外施設」については、駐輪場を7割近くの学生が利用していることが明らかとなり、学生の満足度で

は9割以上の評価が得られていた。

「Ⅳ.大学生活全般」では、特に学生自治会・学生団体活動の経験のない学生は約3割を占め、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う部・サークル活動の制限が生じていたことにより学生間交流の機会が少ないことが窺えたが、学生の満足度では9割以上の評価が確保できていた。また、それ以外の項目では9割以上の利用が確認され、8割から9割以上の評価が得られていた。

「Ⅴ.総合的な学生生活に対する満足度」では、9割強の学生は学生生活に満足しているという肯定的評価が得られた。

これらの結果に基づき、今後さらなる改善の方向性については、主にオフィスアワーの利用者の拡大、図書館利用経験なしの学生数ゼロの達成、屋内施設の通信環境の整備等を中心に検討する必要があると考える。

8. 学生生活の実態に関する評価および改善の方向性

学生の「生活状況」「修学の状況」「学生自治会・学生団体活動の状況」「学生生活の悩み」について詳細が明らかとなり、本学の学生生活の特徴が示された。特に、アルバイトの1日当たりの平均時間（平日）は半数以上の学生が4～5時間行っており、1日当たりの平均学習時間の減少傾向と関連があると考えられる。これらのことから、引き続き積極的に学習支援を継続していく必要性が示された。

また、学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の参加経験がある学生は、若干ではあるが前年度よりも増加していた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動制限により、自治会・部・サークル活動が制限され、それを機に活動実績がなくなってしまった部・サークルがあり、今年度は自治会が中心となって活動を継続している部・サークル団体の整理を行っている。すでに学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の制限が緩和されていることから、適切な感染対策と同時に、学生の学習支援や学生生活の充実を図ることができるよう、自治会と連携しながら学生支援を工夫して継続していく必要がある。